取扱説明書

セフィット 可動間仕切収納
アッパーBOXタイプ

■ このたびは、セフィット商品をお買い上げいただきありがとうございました。

■ 安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

■ 本書は、いつもお手元においてご使用ください。

住宅部品表示ガイドラインによる表示

F☆☆☆☆

■構成材料　<内装仕上部分／下地部分>

ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分
MDF	F☆☆☆☆
パーティクルボード	F☆☆☆☆
集成材	F☆☆☆☆
合板	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆

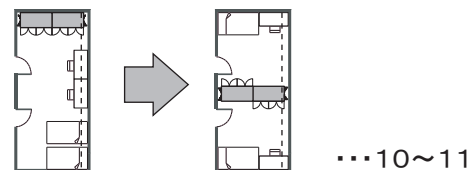
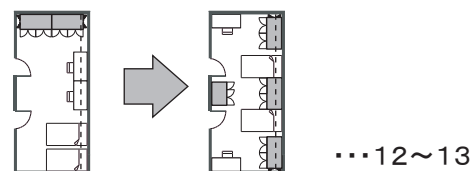
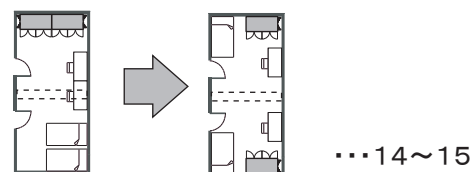
お問い合わせ、詳細資料提出等は裏表紙に記載の窓口で承ります。

アクシス株式会社

目次

ご使用前に

商品について

収納本体の移動

ユーザーサポート

安全のため必ずお守りください

■ 本製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ず知っておいていただきたい項目です。

取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

してはいけない「禁止」を示しています。

必ず実行していただく「指示」を示しています。

⚠注意

扉や取手にぶら下がらない 収納本体にぶつかったりしない

収納物の落下や取手の脱落によるケガの恐れがあります。
特に、小さいお子様には十分ご注意ください。

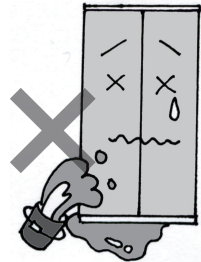
ストーブなどの熱源を近づけない 直接温風をあてない

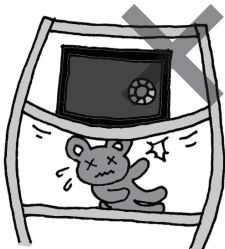
ストーブなどの暖房器具や高熱を発する照明器具を近づけすぎた場合、扉の変形・変色の恐れがあります。

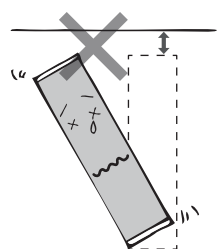
本体の中に入ったり ハンガーパイプにぶら下がったりしない

本体の破損やハンガーパイプの変形によりパイプが落下し、ケガをする恐れがあります。
特に、小さいお子様には十分ご注意ください。

水濡れしないように注意する

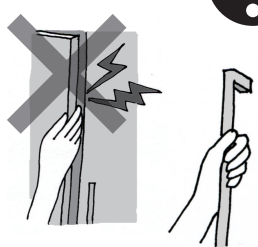
水に濡れると変質する恐れがあります。
水がかかったりこぼれたりした場合はすみやかに拭き取ってください。

重量物を収納しない

この商品の最大収納量の目安は棚板1枚あたり20kgです。それ以上収納すると棚板が外れたり破損したりする恐れがあります。収納物はなるべく一ヶ所にまとめず、棚板に均等になるよう収納してください。

必ず天井に突っ張って設置する

この商品は天井に突っ張って固定する商品です。天井と突っ張れない場所に設置した場合、転倒の恐れがあります。
万一、天井に突っ張らずに設置して転倒事故が発生した場合、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

扉や引き出しの開閉は静かにゆっくり行う

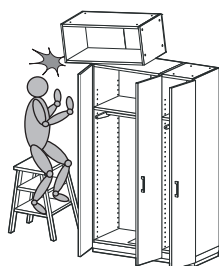
強い力をかけすぎると、扉や引き出しの破損や脱落が起こり、ケガをする恐れがあります。

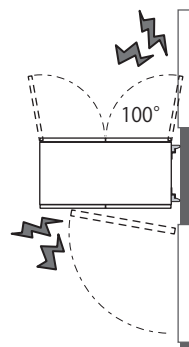
扉の開閉は取手を持って行う スキマなどに指や手を入れない

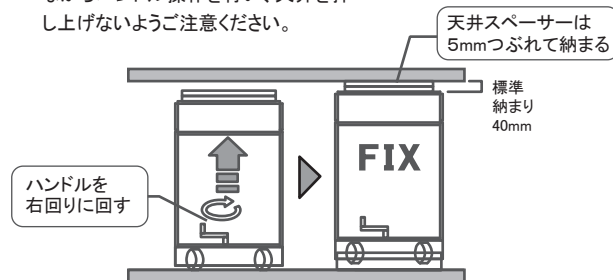
扉を持って閉めたり、扉のスキマなどに指を入れたまま扉を開けると、指をはさむなどのケガをする恐れがあります。

ご使用前に知っていただきたいこと

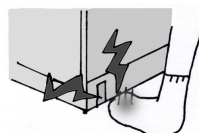
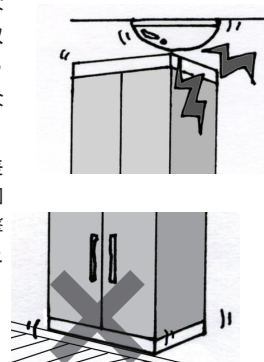
⚠注意

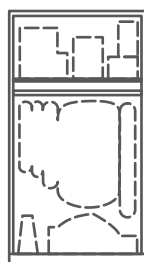
アッパーBOXを下ろす際は注意する

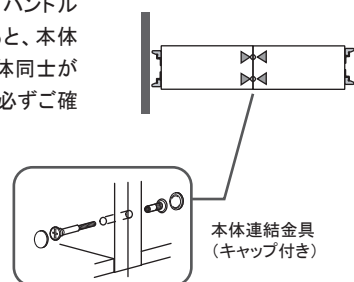
アッパーBOXを下ろして本体を移動する際は、必ず収納物を外に出し、扉を外してから２人以上で作業を行ってください。
※ アッパーBOX重量：10〜40kg

収納本体の設置場所周辺に注意する

収納本体設置場所を決める際は、設置・移動した場所で、建具の開閉や収納扉の開閉に支障がないかどうか周辺をよく確認してください。
※ 収納扉は100°開きです。
取手や扉が壁や窓、ドア枠に当たると、キズや破損の恐れがあります。支障がある場合は戸当たりなどを取り付け、直接当たらないようにしてください。

収納本体の固定の際、特に注意する

ジャッキアップハンドルを右回りに回すと、収納ユニットと天井の間のスキマが狭くなり、キャスターが床から離れて収納ユニットは固定されます。
ハンドルが止まるところまで回すと正しくしっかり突っ張った固定状態となるよう設計されています。止まるところまで回してください。
※ 住宅の経年変化で天井の高さにバラツキが出ることがあります。
その際、ハンドルを最後まで回すと収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがあります。ゆっくり確認しながらハンドル操作を行い、天井を押し上げないようご注意ください。

収納本体の移動は慎重に行う

移動の際、手や足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。また、収納本体と照明器具・感知器・ドア枠・梁などがぶつからないよう注意しながら移動してください。
※ 床見切・敷居など3mm以上の段差を超える移動は、本体破損の原因となります。収納本体に直接衝撃が加わらないよう、板等を敷いた上を移動させてください。

収納本体の移動の際、収納物をすべて取り出す

ジャッキアップキャスターの故障や床面へのキズ・へこみの原因となります。
必ず空の状態で作業を行ってください。

収納本体の移動の際、必ず本体連結金具を外す

連結したままジャッキアップハンドルを回して本体を昇降させると、本体破損の原因となります。本体同士が連結されていないかどうか必ずご確認ください。
本体が連結されている場合本体連結金具を外してください。

お手入れ方法について

表面が汚れたときは、柔らかい布を家庭用中性洗剤を薄めた水にひたし、よく絞ってから軽く拭き仕上げに乾いた布で乾拭きしてください。化学ぞうきんをお使いの際は、ぞうきんの注意書きに従ってください。
静電気による汚れは、耐電防止剤入りのOAクリーナーで拭き取ることをおすすめします。
シンナー・ベンジン等は変色やクラックの原因となりますので使用しないでください。

不具合箇所は無理に直さずご相談を

可動部のガタツキ、異音がするなど不具合箇所がある場合は、弊社までご相談ください。無理に直そうとした場合、落下や破損によるケガの恐れがあります。

ご相談はこちらまで

アクシス株式会社 セフィットお問合せ窓口
0120－348－225

各部のなまえ

※ この製品図は代表的なものです。お客様のご使用になるものとは異なる場合があります。

アッパーBOX

調整パネル（大）
【アッパーBOXを使用する場合】
アッパーBOXの天板に直接取り付けます
【アッパーBOXを使用しない場合】
収納本体の天板に直接取り付けます
（軟質材天井スペーサー付き）

サイドスペーサー受け（小）

サイドスペーサー（小）

調整パネル（小）
収納本体の天板に直接取り付けます（軟質材天井スペーサー付き）

穴隠しキャップ
本体側板がオープンの際、穴隠しキャップで本体連結穴をふさぎます

FIXパネル
扉と同柄の固定パネルです

カスタムパーツ
ハンガーパイプ
耐荷重は90cmあたり45kgです
（取付高さの変更ができます）
※追加注文可能です ⇒ P16

天板

本体連結金具
複数の収納本体を横に並べて設置する際、本体同士を連結します

サイドスペーサー
収納本体側面と壁とのスキマを埋める軟質材です（側板に固定した受け材に押し込みます）
※追加注文可能です ⇒ P16

カスタムパーツ
棚板
1枚あたりの耐荷重は20kgです
（取付高さの変更ができます）
奥行：480mm
※追加注文可能です ⇒ P16

取手
ねじ穴ピッチ：300mm
【セレクトハンドルの場合】
ねじ穴ピッチ：150、250mm
固定ねじ：M4×35

扉

カスタムパーツ
小物ハンガーバー
側板または仕切板に取り付けます（取付高さの変更ができます）
※追加注文可能です ⇒ P16

仕切板

カスタムパーツ
引出し
高さ(内寸)：105.5mm
奥行き(内寸)：425mm
幅：製品によって異なります
※追加注文可能です ⇒ P16

ジャッキアップハンドル（フタ）

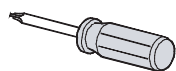
側板・仕切板
パーツ取付穴にはあらかじめインサートナット（M6×10）が50mmピッチで埋め込まれています
奥行方向間隔：420mm

台輪
地板とジャッキアップキャスターが内蔵された台輪の一体ユニットです

《収納本体の昇降のしくみ》

カスタムパーツの移動方法

⚠注意

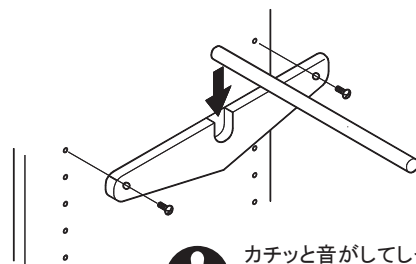
作業にはドライバーが必要です。

■カスタムパーツを取り外す際はパーツの落下等にご注意ください。
■アッパーＢＯＸの扉を取り外す際は扉の落下等にご注意ください。
■各取付ビスや締付金具は手回しのドライバーで根元までしっかり締め付けてください。締め付けが不十分な場合、収納物の損害や棚板の落下によるケガの恐れがあり大変危険です。

ハンガーパイプ

【取り外し方法】

① パイプを両手で持ち、まっすぐ上へ押し上げて外します。
② パイプ受け取付ビスを外し、パイプ受けを外します。
※パイプを外す際、固い場合がありますが力を入れて押し上げてください。

【取り付け方法】

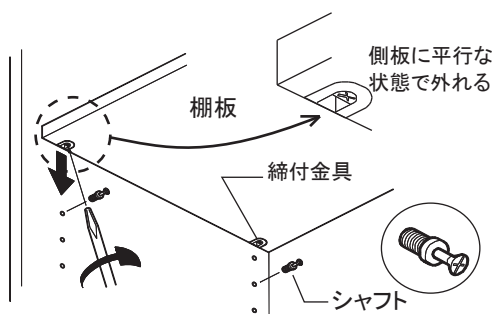
① お好みの高さのパーツ取付穴にパイプ受けを取り付けます。
② パイプ受けの上方からパイプを下方向に下ろしながら、溝にパイプをはめ込みます。

カチッと音がしてしっかりはまったことを確かめてください。

棚　板

【取り外し方法】

① 棚板下面の締付金具を左に回しゆるめます。
② 上方向にまっすぐ棚板を押し上げて棚板を外します。
③ シャフトをドライバーでゆるめて外します。

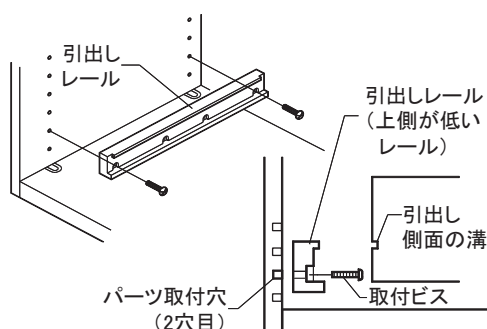
【取り付け方法】

① お好みの高さのパーツ取付穴にドライバーでシャフトを固定します。
② シャフトの上方から棚板を差し込みまっすぐ下ろします。
③ 締付金具にシャフトがしっかり差し込まれたことを確認し、締付金具をドライバーで締め付けます。

引出し

【取り外し方法】

① 引出しを手前側に引き抜きます。
② 引出しレール取付ビスを外し引き出しレールを外します。

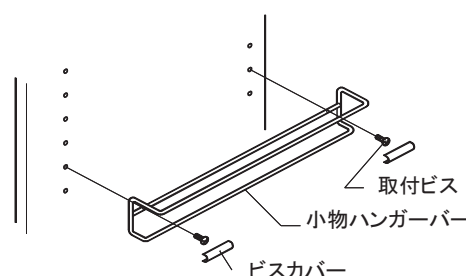
【取り付け方法】

① 下から2穴目より上のパーツ取付穴に引出しレールを取り付けます。
② 引出し側面の溝に上側が低いレールがくるようまっすぐ正面から差し込みます。
③ 2段目以降は2穴飛ばし（150㎜ピッチ）で3穴目にレールを取り付けます。

小物ハンガーバー

【取り外し方法】

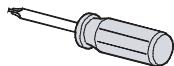
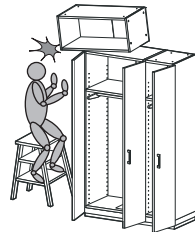
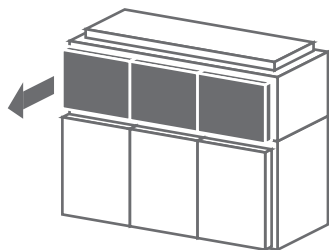
① ビスカバーを外します。
② 取付ビスを外し、小物ハンガーバーを取り外します。

【取り付け方法】

① お好みの高さのパーツ取付穴に小物ハンガーバーを固定ビスで取り付けます。
② ビスカバーを取り付けます。

アッパーBOXの取り外し方法

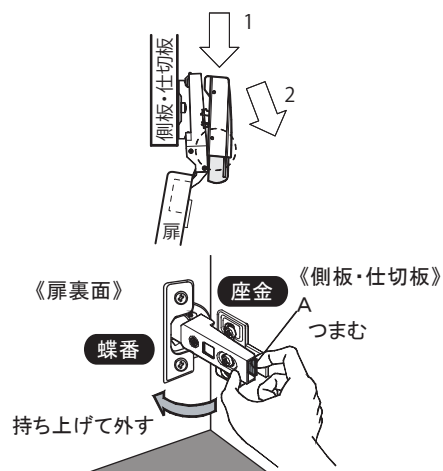
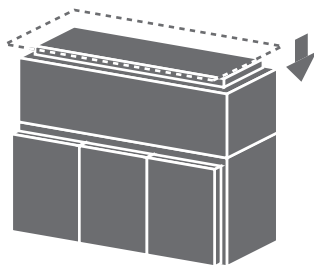
■ 収納本体を移動してレイアウトを変更する際(12〜15ページ参照)、アッパーBOXの取り外しが必要になります。
ここではアッパーBOXの取り外し方法についてご説明します。

⚠注意

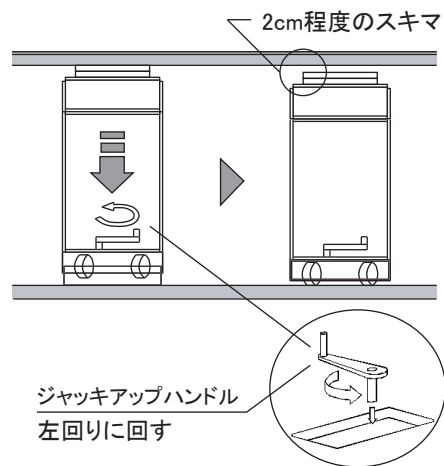
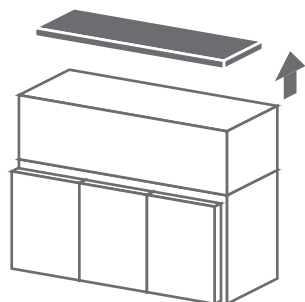
作業にはドライバーが必要です。
作業をする際は周囲に物がない安全な場所で行って下さい。
また、アッパーBOXの扉を取り外す際は扉の落下等にご注意ください。

アッパーBOXを下ろして本体を移動する際は、必ず扉を外してから作業を行ってください。
また、アッパーBOXは10〜40kgありますので、上げ下ろしの際は必ず収納物を外に出した空の状態で、二人以上で作業を行ってください。

1 扉を外す

① 戸当たりダンパーを奥から手前に押しながら手前に引きます。

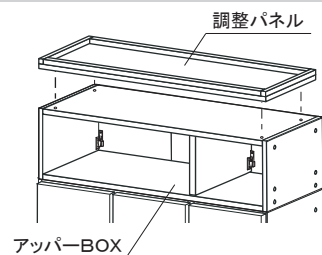
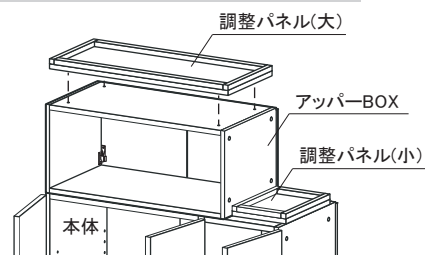
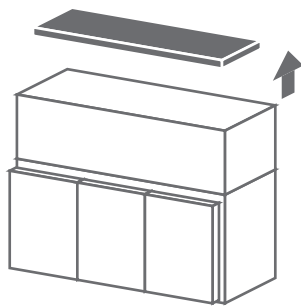
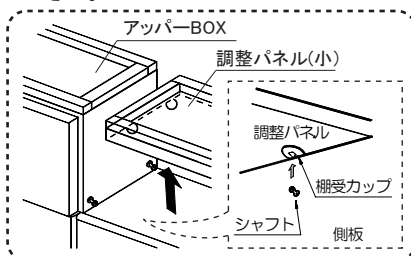
② 片方の手で扉を持ち、もう片方の手で扉裏面の蝶番後方にあるAの部分を指で挟んでつまみます。

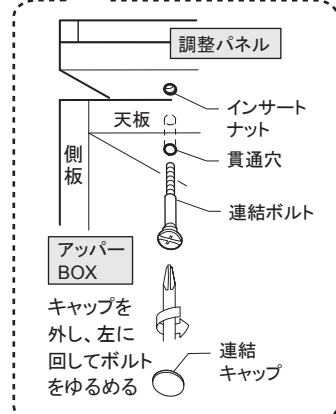
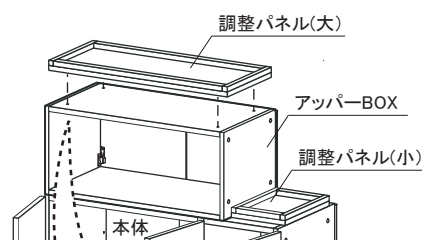
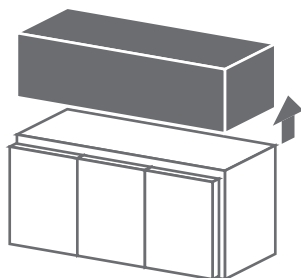
③ Aの部分をつまんだ状態で蝶番を持ち上げて座金から外し、扉を取り外します。

⚠注意
扉の取り外しは高い場所での作業となりますので、十分ご注意ください。

2 全体を下げスキマをつくる

① ジャッキアップハンドルのふたを開けてハンドルを取り出し、シャフトに差し込みます。

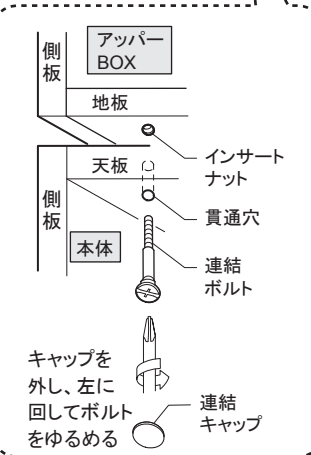
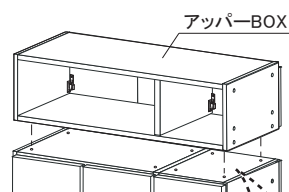
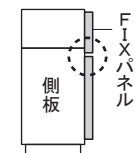
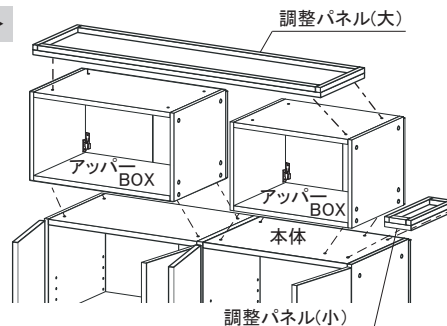
② ハンドルを15〜20回程度、左回りに回して収納本体と天井の間に2cm程度のスキマをあけます。

⚠注意
ハンドルをロックするまで回すとキャスターが床に接地し可動状態になり、作業時不意に収納が動く恐れがあります。収納本体が動かないことをご確認ください。

3 調整パネルを外す

調整パネルは、アッパーBOXの種類によって大と小があります。

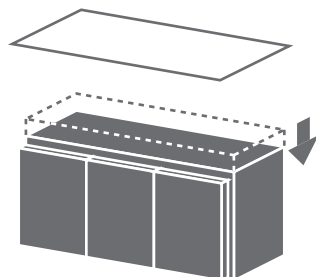
<本体同幅アッパーBOXタイプ>

<梁欠き対応タイプ>

3 調整パネルを外す（続き）

① アッパーBOXの天板と、調整パネルを連結している連結ボルトのキャップを外し、連結ボルトをゆるめます。（右図参照）
※調整パネル(小)が設置されている場合は連結ボルトをゆるめた後、調整パネルを上に持ち上げ、シャフトと棚受けカップを外してください。

② 周囲に十分気をつけながら、調整パネルを下ろします。

⚠ 注意
調整パネルの取り外しは高い場所での作業となりますので、十分ご注意ください。

4 アッパーBOXを外す

① 本体の天板と、アッパーBOXを連結している連結ボルトのキャップを外し、連結ボルトをゆるめます。
※連結ボルト・連結キャップは大切に保管してください

② 周囲に十分気をつけながら、アッパーBOXを下ろします。
※アッパー BOX を 2 台乗せている場合は、 1 台ずつ下ろします。（下図参照）

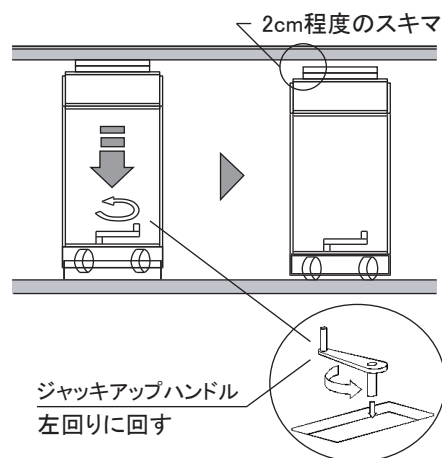
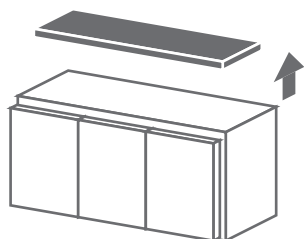
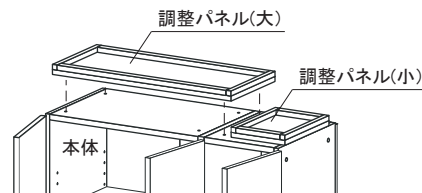
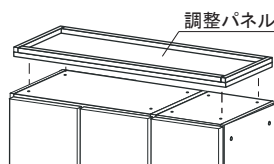
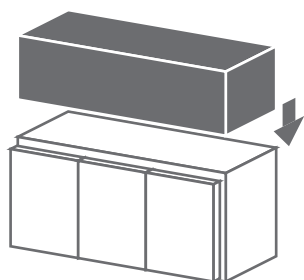
⚠ 注意
FIXパネルがアッパーBOX地板より下に出ていますのでご注意ください。

＜アッパー BOX を 2 台乗せている場合＞

アッパー BOX の取り付け方法

■ 収納本体を移動してレイアウトを変更したあと、アッパーBOXの取り付けが必要になります(14～15ページ参照)。
ここではアッパーBOXの取り付け方法についてご説明します。

1 全体を下げる

① ジャッキアップハンドルのふたを開けてハンドルを取り出し、シャフトに差し込みます。

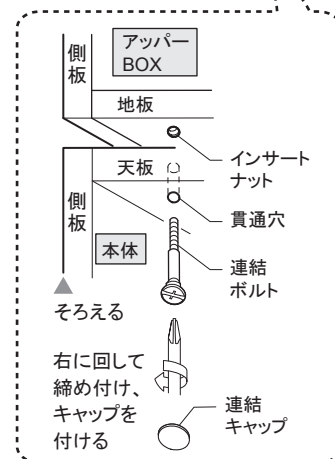
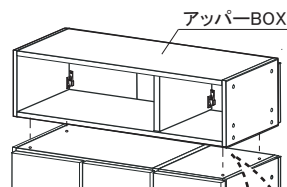
② ハンドルを15～20回程度、左回りに回して収納本体を下げます。

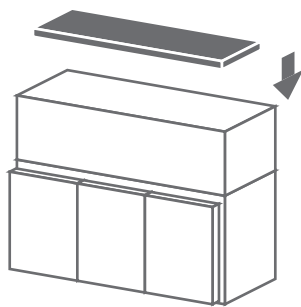
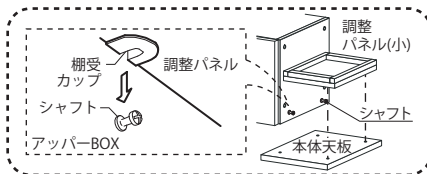
⚠ 注意

ハンドルをロックするまで回すとキャスターが床に接地し可動状態になり、作業時不意に収納が動く恐れがあります。収納本体が動かないことをご確認ください。

2 調整パネルを外す

本体天板に調整パネル、 または調整パネル (大) が取り付けてある場合は 7 ページを参考に調整パネルを取り外します。

3 アッパーBOXを取り付ける

① 本体にアッパーBOXを乗せ、側板外面同士を揃えて連結ボルトで固定し、キャップを付けます。(右図参照)

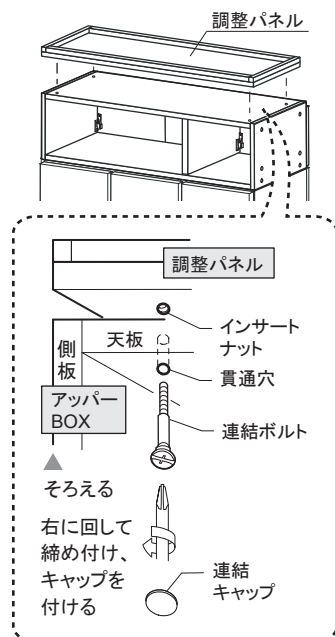
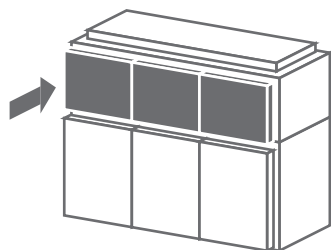
⚠ 注意

FIXパネルがアッパーBOX地板より下に出ていますのでご注意ください。

FIXパネル
側板

＜アッパー BOX を 2 台乗せる場合＞

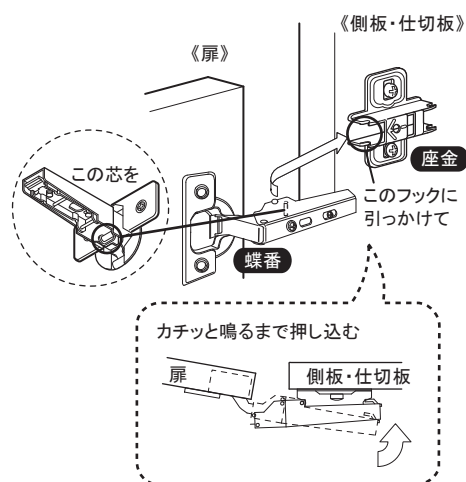
4 調整パネルを取り付ける

① アッパーBOXに調整パネル、または調整パネル(大)を乗せ、側板外面同士を揃えて連結ボルトで固定し、キャップを付けます。(右図参照)
※調整パネル(小)を取り付ける場合、アッパーBOXにシャフトを取り付け、調整パネルと組み合わせます。

② サイドスペーサー受け(小)を取り外していた場合は、必要に応じてサイドスペーサー受け(小)を取り付けます。

⚠ 注意

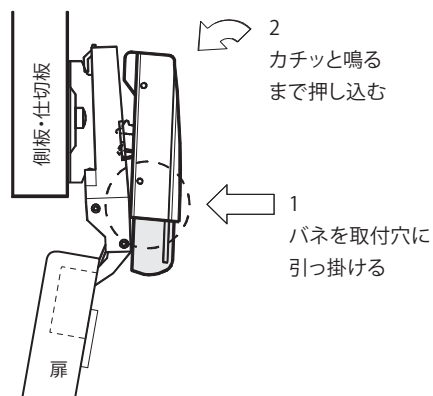
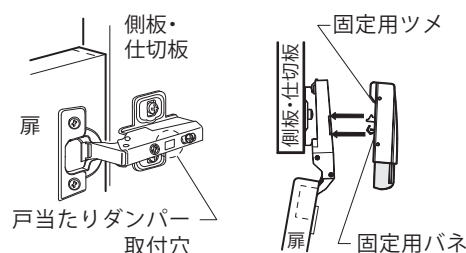
調整パネルの取り外しは高い場所での作業となりますので、十分ご注意ください。

5 扉を取り付ける

① 片方の手で扉を持ち、もう片方の手で扉裏面の蝶番中央部にある芯を、座金のフックに引っかけます。

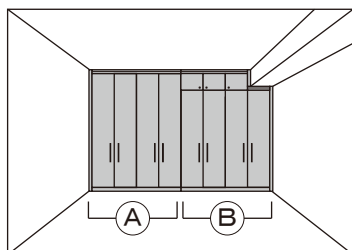
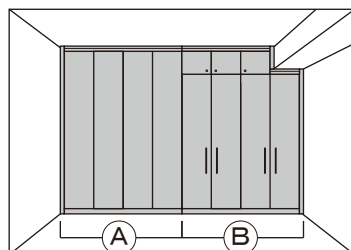
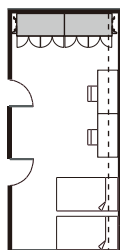
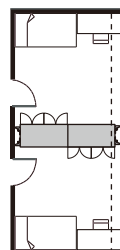
② カチッと音が鳴るまでしっかり押し込みます。
※蝶番が座金にしっかり固定されているかどうか、扉を数回開閉して確認してください

⚠ 注意

扉の取り外しは高い場所での作業となりますので、十分ご注意ください。

③ 各扉1個ずつ戸当たりダンパーを取り付けます。下の蝶番への取り付けを推奨します。

④ 蝶番の戸当たりダンパー取付穴に、固定用ツメと固定用バネをそれぞれ合わせてください。

⑤ 固定用バネを蝶番の取付穴に引っ掛け、戸当たりダンパー後部をカチっと鳴るまで蝶番を押し込み、取り付けます。

収納本体の移動

本体を梁に対して直角に移動させる場合 ※アッパーBOXを取り外さずに移動できます

本体を壁際に寄せたワンルームプラン

本体を中央に設置し二室に分けたプラン

⚠ 注意

収納本体移動の際、収納物をすべて取り出す

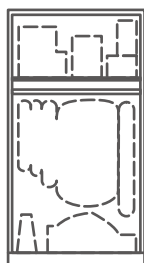
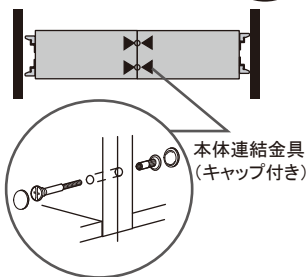
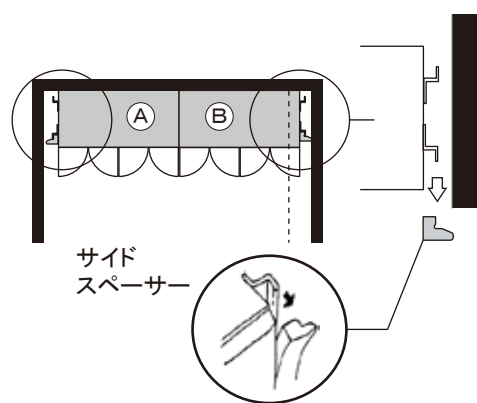
ジャッキアップキャスターの故障や床面へのキズやへこみの原因となりますので、必ず空の状態で作業を行ってください。

収納本体移動の際、必ず本体連結金具を外す

連結したままジャッキアップハンドルを回して本体を昇降させると、破損の原因となります。
本体同士が連結されていないかどうか必ずご確認ください。

1 サイドスペーサーを取り外す

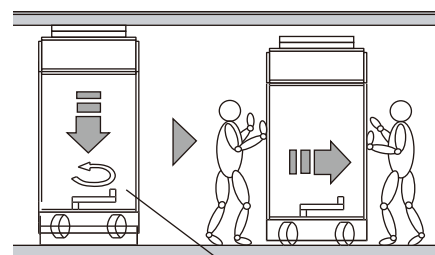
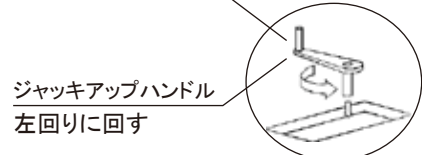
本体と壁面の間に差し込まれているサイドスペーサーを取り外します。
※壁際を押すとサイドスペーサーと壁の間に指が入り、スペーサー受けからスペーサーを引き出すことができます

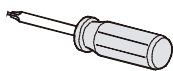
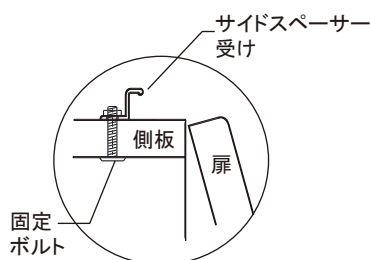
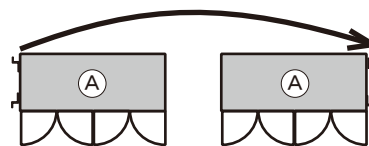
⚠ 注意

収納本体が床に固定され動かないことを確認してください。

2 収納本体を可動状態にする

① ジャッキアップハンドルのふたを開けてハンドルを取り出し、シャフトに差し込みます。

② ハンドルがロックするまで左回りに回します。

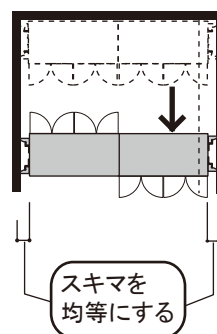
⚠ 注意

事故防止のため作業は2名以上で行ってください。

3 サイドスペーサー受けの取付位置を変更する

作業にはドライバーが必要です。

本体Aのサイドスペーサー受けを、反対側（移動先で壁に寄せるほうの側板）に付け替えます。

4 収納本体を移動する

収納本体を設置場所へ移動し、壁と収納本体側板とのスキマが左右均等になるように並べます。（設計スキマ幅各36.5mm）

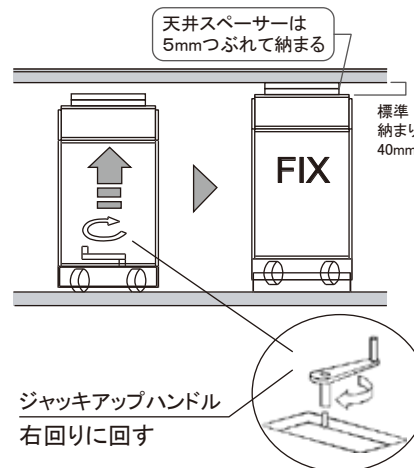
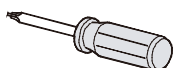
※サイドスペーサーを定規にするとスキマを均等にすることができます

注意

移動の際、手足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。
また、収納本体と照明器具、感知器などがぶつからないよう注意しながら動かしてください。

5 収納本体を固定する

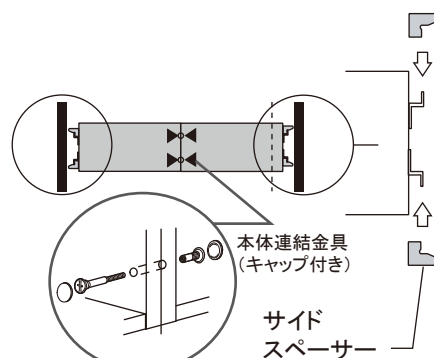
収納本体と天井が突っ張るまで、ジャッキアップハンドルを右回りに回します。

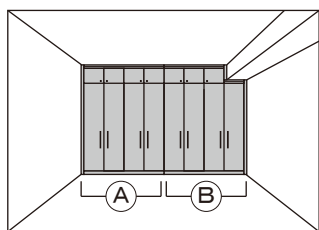
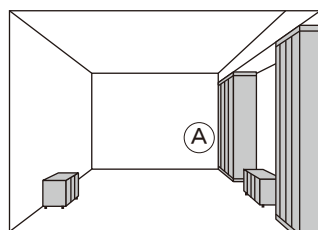
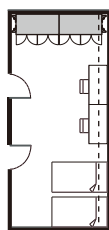
注意

住宅の経年変化により天井の高さにバラツキがでる場合があります。その場合、ハンドルを最後までまわすと収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがありますのでご注意ください。

6 サイドスペーサーと本体連結金具を取り付ける

① 収納本体と壁とのスキマにサイドスペーサーを押し込み、スキマをふさぎます。

② 収納本体同士のスキマが気になる場合は、本体連結金具を取り付けて2台を連結します。

③ ジャッキアップハンドルとふたを元に戻して完了です。
※この説明書は、次に収納本体を移動するまで大切に保管してください。

作業にはドライバーが必要です。

収納本体の移動

本体を梁に対して平行に移動させる場合 ※アッパーBOXを取り外して移動します

本体を壁際に寄せたワンルームプラン

アッパー BOX を床に下ろして本体を梁に平行に設置したプラン

⚠ 注意

収納本体移動の際、収納物をすべて取り出す

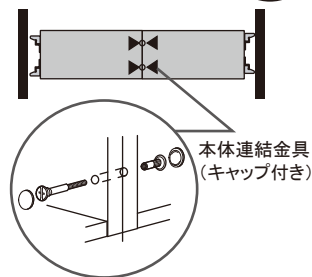
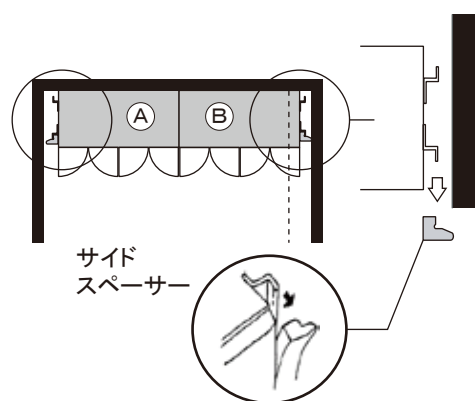
ジャッキアップキャスターの故障や床面へのキズやへこみの原因となりますので、必ず空の状態で作業を行ってください。

収納本体移動の際、必ず本体連結金具を外す

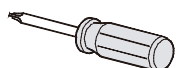
連結したままジャッキアップハンドルを回して本体を昇降させると、破損の原因となります。
本体同士が連結されていないかどうか必ずご確認ください。

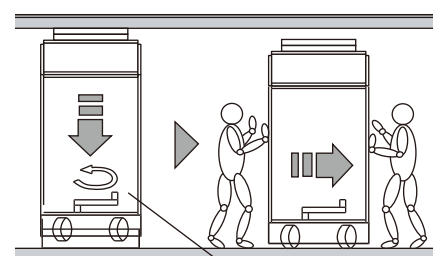
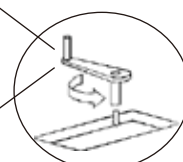
1 サイドスペーサーを取り外す

本体と壁面の間に差し込まれているサイドスペーサーを取り外します。
※壁際を押すとサイドスペーサーと壁の間に指が入り、スペーサー受けからスペーサーを引き出すことができます

⚠ 注意

収納本体が床に固定され動かないことを確認してください。

2 収納本体を少し下げアッパーBOXを取り外す

6～7ページの『アッパーBOXの取外し方法』を参考に、アッパーBOXを取り外します。

作業にはドライバーが必要です。

⚠ 注意

事故防止のため作業は2名以上で行ってください。

3 収納本体を移動する

① ハンドルが回りきるまで左回りに回し、収納本体を移動させます。

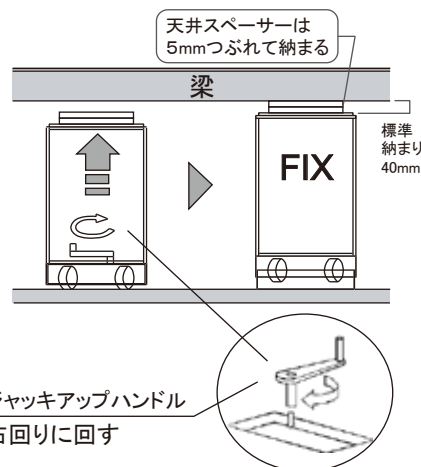
② 移動先で壁と収納本体側板との間にスキマをあけて並べます。（設計スキマ幅36.5mm）
※サイドスペーサーを定規にするとスキマが調整しやすくなります

⚠ 注意
移動の際、手足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。

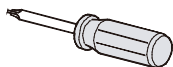
ジャッキアップハンドル
左に回す

4 本体天板に調整パネルを取り付けて、 収納本体を固定する

① ハンドルを15～20回程度右回りに回して、本体が動かない程度に固定し、本体天板の上に調整パネルを乗せ連結金具で固定します。

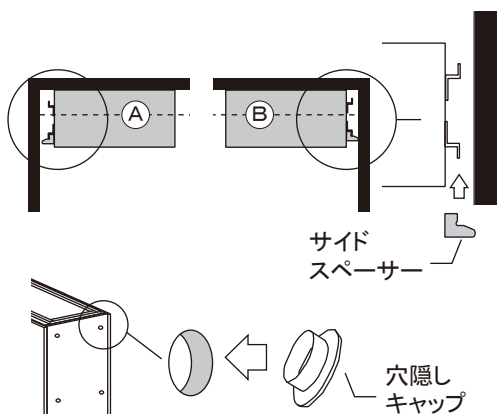
② 収納本体と天井が突っ張るまでハンドルを回して固定します。

⚠ 注意
住宅の経年変化により天井の高さにバラツキがでる場合があります。その場合、ハンドルを最後までまわすと収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがありますのでご注意ください。

作業にはドライバーが必要です。

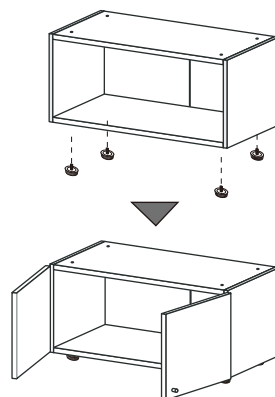
天井スペーサーは5mmつぶれて納まる
梁
標準納まり40mm
FIX
ジャッキアップハンドル
右回りに回す

5 サイドスペーサーと穴隠しキャップを取り付ける

① 収納本体と壁とのスキマにサイドスペーサーを押し込み、スキマをふさぎます。

② オープンになっている方の側板の本体連結用穴に、穴隠しキャップを取り付けます。（16ヶ所）

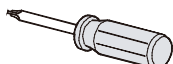
③ ジャッキアップハンドルとふたを元に戻して完了です。
※この説明書は、次に収納本体を移動するまで大切に保管してください。

6 アッパーBOXを設置する
※アッパーBOXを床に下ろして使用する場合のみ

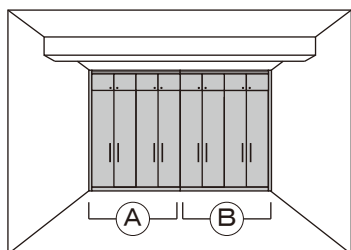
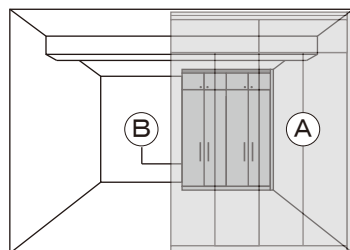
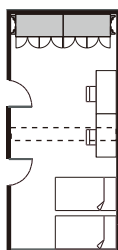
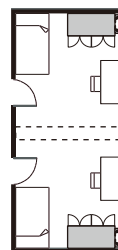
① アッパーBOXの連結金具取付位置に専用の脚（別売）を取り付けます。

② 8～9ページを参考にし、扉を取り付けます。

【脚セット（別売）に含まれるもの】
・アッパーBOX取付用脚（2種類）
・φ10穴用穴隠しキャップ
※詳しくは脚セット付属の説明書をご覧ください

作業にはドライバーが必要です。

収納本体の移動

本体を梁に対して平行に移動させる場合

収納本体の移動

梁下をくぐって本体を移動させる場合 ※アッパーBOXを取り外して移動します

本体を壁際に寄せたワンルームプラン

梁下をくぐって本体Aを移動したプラン

⚠ 注意

収納本体移動の際、収納物をすべて取り出す

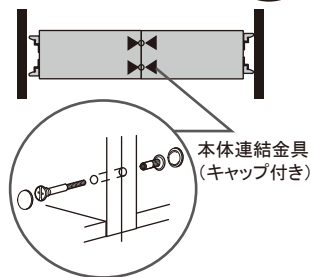
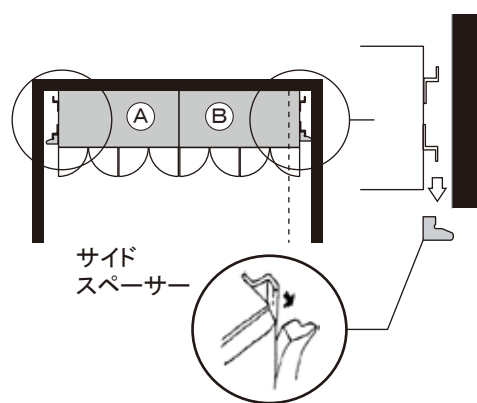
ジャッキアップキャスターの故障や床面へのキズやへこみの原因となりますので、必ず空の状態で作業を行ってください。

収納本体移動の際、必ず本体連結金具を外す

連結したままジャッキアップハンドルを回して本体を昇降させると、破損の原因となります。
本体同士が連結されていないかどうか必ずご確認ください。

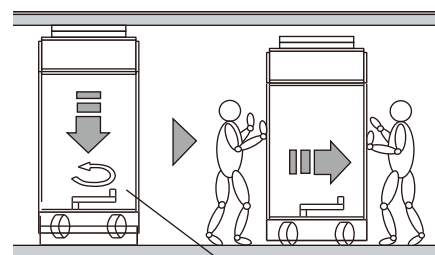
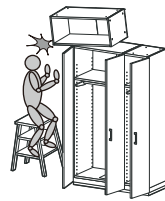
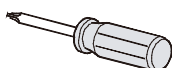
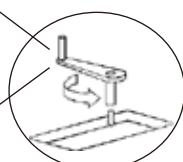
1 サイドスペーサーを取り外す

本体と壁面の間に差し込まれているサイドスペーサーを取り外します。
※壁際を押すとサイドスペーサーと壁の間に指が入り、スペーサー受けからスペーサーを引き出すことができます

⚠ 注意

収納本体が床に固定され動かないことを確認してください。

2 収納本体を少し下げ アッパーBOXを取り外す

6～7ページの『アッパーBOXの取外し方法』を参考に、アッパーBOXを取り外します。

⚠ 注意

事故防止のため作業は2名以上で行ってください。

作業にはドライバーが必要です。

3 収納本体を移動する

① ハンドルが回りきるまで左回りに回し、収納本体を移動させます。

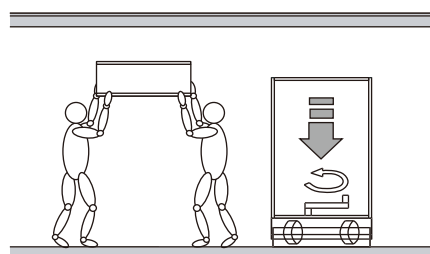
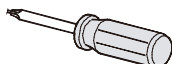
② 移動先で壁と収納本体側板との間にスキマをあけて並べます。
（設計スキマ幅36.5mm）
※サイドスペーサーを定規にするとスキマが調整しやすくなります

⚠ 注意
移動の際、手足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。

ジャッキアップハンドル
左に回す

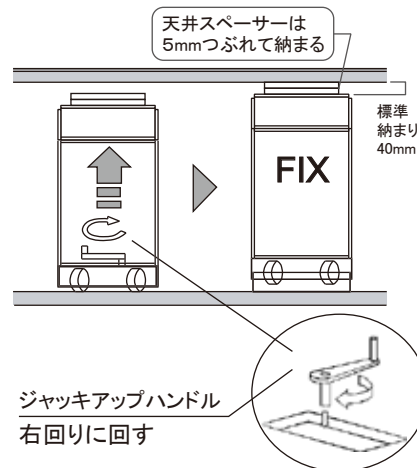
4 本体天板にアッパーBOXを取り付ける

8〜9ページの『アッパーBOXの取り付け方法』を参考に、アッパーBOXを取り付けます。

⚠ 注意
事故防止のため作業は2名以上で行ってください。

作業にはドライバーが必要です。

5 収納本体を固定する

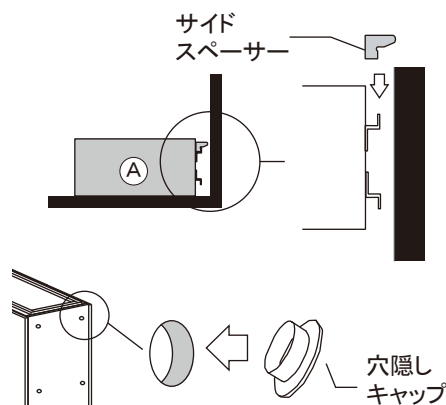
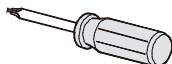
収納本体と天井が突っ張るまで、ジャッキアップハンドルを右回りに回します。

⚠ 注意
住宅の経年変化により天井の高さにバラツキがでる場合があります。その場合、ハンドルを最後までまわすと収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがありますのでご注意ください。

6 サイドスペーサーと穴隠しキャップを取り付ける

① 収納本体と壁とのスキマにサイドスペーサーを押し込み、スキマをふさぎます。

② オープンになっている方の側板の本体連結用穴に、穴隠しキャップを取り付けます。（16ヶ所）

③ ジャッキアップハンドルとふたを元に戻して完了です。
※この説明書は、次に収納本体を移動するまで大切に保管してください。

作業にはドライバーが必要です。

ユーザーサポート

■カスタムパーツのご注文

- 本商品はミリ単位のオーダーメイドです。追加カスタムパーツをご注文の際は、注文IDまたは邸IDが必要となります。
- カスタムパーツのご注文はインターネット・お電話・FAX・郵送で承ります。

《注文ID・邸ID記載箇所》
◆ジャッキアップハンドルのフタの裏
◆インフォメーションシート
◆追加パーツオーダーフォーム

【可動間仕切収納カスタムパーツ・単品・部品一覧】

■商品の保証

商品は厳密な検査に合格してお届けしております。
施工説明書に従って正しい施工が行われ、取扱説明書、本体注意表示等に従った正常な使用状態で、保証期間内に万一故障した場合は、お引き渡し日より２年間、以下の保証規定により無料で修理を行うことをお約束します。

【無料修理規定】

1．施工説明書、取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に、万一故障した場合は無料で修理いたします。
2．保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
　（１）取扱上の不注意、誤用による故障及び損傷
　（２）移動時の衝撃等による故障及び損傷
　（３）商品を購入された施工店または弊社以外による修理、改造等による故障及び損傷
　（４）商品以外の住宅の構造体、構成部材及び地盤のゆがみ等による故障及び損傷
　（５）火災、地震、水害、落雷その他天災地変、公害、治安の混乱等による故障及び損傷
　（６）瑕疵によらない自然の磨耗、さび、かび、変質、変色、その他類似の事由による場合
3．消耗品類は本保証規定による保証の対象とはなりません。
4．商品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について、弊社はその責任を負わないものとします。
5．本規定は、日本国内においてのみ有効です。

お問い合わせは
こちらまで

0120-348-225
（受付 9:00〜18:00 休 土・日・祝）
E-mail：order@ce-fit.com

東日本営業グループ / 青山サイト
東京ショウルーム（完全予約制）
〒107-0062 東京都港区青山2-23-8 外苑ビル3F
TEL 03-3479-5100 FAX 03-3479-6200

西日本営業グループ / 堀江サイト
大阪ショウルーム
〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-26
TEL 06-6536-2030 FAX 06-4391-7102

HP http://www.ce-fit.com セフィット 検索

20140430